



2024年8月6日

各位

会社名 株式会社立花エレクトック
代表者名 代表取締役社長 布山尚伸
(コード番号 8159 東証プライム市場)
問合せ先 取締役執行役員 管理部門担当 松浦良典
電話 (06) 6539-2718

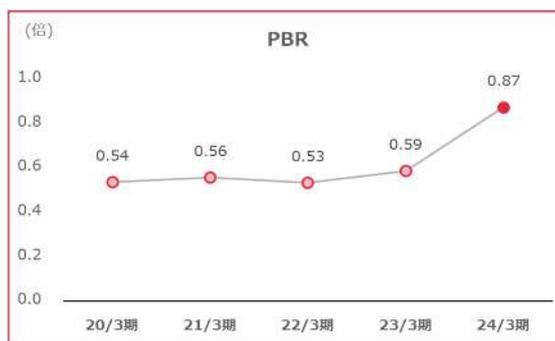
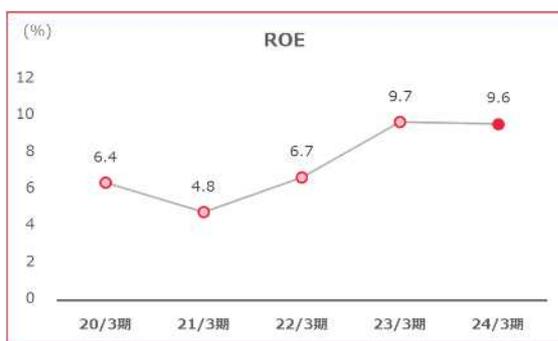
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年8月6日開催の当社取締役会において、下記のとおり審議・決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社グループの2024年3月期は、売上高は2,300億円を超え、売上高及びすべての利益項目について過去最高の業績を収めることができました。業績の伸長、資本政策の実行によりPBRは上昇したものの、依然として1倍を上回る水準には至っておりません。



2. 方針・目標

中長期経営計画「NEW C. C. J. 2200」(以下、「NCCJ」とする。)の各施策実行と「真のグローバル技術商社として強固なDXプラットフォームを確立」することによって事業成長を加速させ、自己株式取得による資本効率向上と株主還元強化を図るとともに積極的なIR活動を展開してPBR1倍超を目指してまいります。

- (1) NCCJの各施策実行とDXプラットフォーム確立による安定した事業成長と利益生産性向上
 - ・ 来たるべき未来社会に選ばれる技術商社としてソリューション提案力を強化します。
 - ・ 全社レベルの情報の一元化とオペレーションの標準化を進め、各種自動化の仕組みを導入することで属人化の排除とコスト削減を図ります。
 - ・ 経験豊富な社員の情報・ノウハウを可視化し、社員のレベル向上と意思決定をスピード化することで、販売の拡大とCS向上を図ります。

(2) 自己株式取得による資本効率向上と株主還元強化

- ・ 2024年5月から2026年3月期迄に2,000,000株の自己株式を取得します。
- ・ 同期間の各会計年度ベースにおいて総還元性向50%以上を目指します。

(3) 積極的なIR活動の実施

- ・ 積極的な情報開示と能動的な投資家との対話による発信を強化します。
- ・ 機関投資家との対話の機会を増やすとともに、今後は個人投資家向けのIRにも注力してまいります。
- ・ 対話を通じて把握したご意見等は、適宜経営陣にフィードバックして施策や活動に反映させてまいります。
- ・ 統合報告書やホームページ上の開示を通じて当社を理解していただくことに努めます。

以 上